



地域研究集会

第 20 回伊勢・三河湾の環境と漁業を考える 「伊勢・三河湾をめぐる環境変動と水産資源の今後」

日時：2025 年 11 月 29 日（土）13:00～17:00（受付 12:30～）

会場：三重県津庁舎 6 階大会議室（津市桜橋 3 丁目 446-34） ＊ハイブリッド開催

共催：三重県水産研究所，愛知県水産試験場

後援：三重県漁業協同組合連合会，愛知県漁業協同組合連合会

コンピーナー：岡田 誠・高崎有美子・久世紘聖・栗山 功（三重水研）・曾根亮太・柘植朝太郎（愛知水試）・荒木克哉（愛知水試漁生研）

申込及び問い合わせ： 申込は三重県水産研究所鈴鹿水産研究室のメールアドレス（ise-bay0@pref.mie.lg.jp：「bay」の後の「0」は数字のゼロ）へ所属と氏名を記載して送信ください。問い合わせも同じメールアドレスへお願いします。

挨拶 伊藤進一（一般社団法人水産海洋学会 会長） 13:00～13:05
趣旨説明 岡田 誠（三重水研） 13:05～13:15

【基調講演】

「伊勢・三河湾における貧酸素水塊及び栄養塩循環の変化について」 13:15～14:00
青木一弘（水産機構資源研）

【事例発表】

座長 川村耕平（愛知水試漁生研）
1 ノリ養殖における環境と漁業の現状 14:00～14:30
久世紘聖（三重水研）
2 資源評価調査を通して見えてきた伊勢湾の環境と漁業の現状 14:30～15:00
岡田 誠（三重水研）

（休憩）

座長 栗山 功（三重水研）
3 伊勢・三河湾における貧酸素水塊の発生状況とその変動要因 15:15～15:45
河住大雅・柘植朝太郎・松村貴晴（愛知水試）
4 船びき網及び小型底びき網漁業対象資源にみられる変化 15:45～16:15
荒木克哉（愛知水試漁生研）・曾根亮太（愛知水試）・今泉 哲（愛知県水産課）

【総合討論】

進 行 高崎有美子・岡田 誠（三重水研） 16:15～17:00

開催趣旨：伊勢・三河湾を取り巻く環境は，水質総量規制に伴う陸域からの栄養塩供給の減少や温暖化などの人為的かつ長期的な変動，黒潮の流路変動などの広域的な気象・海象の影響により，大きく変動している．後者にはこれまで一定の周期性が認められていたものの，近年の流路変動はこれまでに知られていなかったパターンをとるなど，従来の知見



が通用しない変化も起こっている。それらが伊勢・三河湾内の環境に与える影響は一様ではなく、様々な変化が急速に進行し、複雑化している状況である。そこで、改めて伊勢・三河湾の環境変動の現状を把握するとともに、それが漁業に与える影響について理解を深めることが重要であると考え。本研究集会では伊勢・三河湾における貧酸素水塊や栄養塩循環の変化についての知見を紹介し、次に三重、愛知各県から、伊勢・三河湾における水産資源やノリ養殖の変化とその環境要因について、南北や深浅等、空間的な違いに着目して報告する。総合討論ではこれらを踏まえ、参加者とともに現状とその要因を共有し、今後の見通しや内湾漁業に対してそれぞれの立場でアプローチできることについても議論していきたい。